

# 卒業生より著書が贈呈されました。

しずよ

本校第60回卒業生の須藤 鎮世様より「福島へのメッセージ 低線量放射線がもたらす長寿と制癌」という著書を寄贈していただきました。1冊は図書館の蔵書とし、もう1冊は校長室に置きたいと思います。

帯によれば「〈被曝＝危険〉ではない。放射線はむしろ有益 分子生物学の専門家が解き明かす、放射線をめぐる“大きな誤解”とは」(表)「放射線を必要以上に怖れず、正しく理解してほしい 広島・長崎の被爆者の生涯調査が示す「直線閾値なしモデル」、甲状腺癌多発、トリチウム水の海洋放出等に関する常識的見解に、最新データを用いて挑む。」とあります。現在心配されている問題に深く関係する内容だと思われます。私もこれから読ませていただくつもりです。

齋藤様の略歴を巻末から引用します。横須賀生まれ、結城育ち。本校を卒業後東京大学薬学部修士課程に進まれて、塩野義製薬、野村総合研究所、野村生物化学研究所、伊藤ハム、産業経済省産業技術総合研究所、就実大学薬学部教授を経て、現在は同大学名誉教授をされています。また、海外での研究や技術指導等にも携わっておられます。薬剤師、薬学博士、第1種放射線取り扱い主任者の資格をお持ちで、専門は細胞遺伝学、分子生物学です。

本校の卒業生が様々な分野で活躍されていることは、以前にもお伝えしましたが、このような機会には、改めて下妻一高の教育力と伝統の力を再認識することができます。本校の校長として大変誇らしく思います。須藤様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。

